

私の好きなアニメのキャラクターは天才
バカボンに出てくるバカボンのパパなのだ。
バカボンのパパは大人なのに、子供みたい
で、いたずらをしてはみんなに迷わばかり
かけています。でもいつも明るくて元気で、
毎日とても楽しそうなのです。そんなバカボ
ンのパパを見ていると、私まで楽しい気持ち
になります。

私のパパも、バカボンのパパに少し似てい
ます。私のパパは、家族でテレビを見ている

のに突然、リビングでいびきをかきながら、
大の字になって寝てしまいます。そのいびきを
がうるさすぎて、テレビの音がまったく聞こ
えなくなります。それにお酒をたくさん飲ん
で帰ってくるので、いつも私の部屋に入ってき
て、私のふとんを取り上げて眠ってしまいま
す。家族に迷わくをかけてばかりいるパパで
す。だけはいないところさびしいから、バカボ
ンのパパもきつと同じで、家族や近所の人たち
に悪いことばかりするけれど好かれているの

だろうと思います。

私が、天才バカボーンというアニメを知っ

たのは、小学四年生のときでした。その日私

は学校で親友とちよ、としたことが原因でけ

んかをしてしまいました。いつもは友達とさ

わがながら楽しく帰るけれど、その日は一人

で帰りました。さびしくて、悲しい気持ちで

家に着いて、テレビをつけると、天才バカボ

ーンがやっていました。テレビの中でバカボ

ーンのパパは、家の近くを元気に走り回りなが

ら、

「これでいいのだい

と叫んでいました。なにがこれでいいのか

私には、分かりませんでした。楽しくてつ

い笑ってしまいました。そのとき私は、けん

かをして暗い気持ちでいるのはいやだなと思

いました。許してもらえないかもしれないけ

れど、親友にあやまってみようと思いました。

次の日、

「昨日はごめんね。」

と思いい切って言うて、親友も、

「私こそごめん。」

と言ってくれました。私たちは、けんかし

たことがうそみたいにな、また仲良しに戻りま

した。そして帰りはいつもみたいに大勢でい

ろんな話をしながら帰りました。やっぱりみ

んなで楽しい気分で、家まで帰るのが一番た

なと思いました。

いかなことは、それからもまだありま

した。隣の席の男子がうるさくて、先生に私

までにらまれたり、テストの点数が悪かっ

り、お兄ちゃんとかけんかしたり、お母さんに

怒られたりなどです。そんなときは、私もバ

カボンパパの真似をして、これでいいのだ。

と心の中で言うことにしています。すると、

不思議なことにな、心の中のモヤモヤとした気持

ちがなくなるとです。そして、また明日から

がんばろうと思えるのです。

「これでいいのだ。」は私にとってのおまじな

いなのだ。